

兵庫県保険医協会 神戸支部研究会

ED診療の現状

～ガイドライン2012年版より～

日時 **7月7日(土)** 午後**2時30分**～

会場 **兵庫県保険医協会会議室**

神戸市中央区海岸通1丁目2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階

講師 **川崎医科大学泌尿器科学教授**

永井 敦 先生

共催 **日本新薬株式会社**

ED診療ガイドライン2012年版が発刊されました。5年ぶりの改定ですが、この間にED(勃起障害)は全身疾患の一つであるというエビデンスが多く報告されました。つまりEDは性機能専門医のみが診る特殊な疾患ではなく、すべての臨床医が診るべき疾患として扱わなければならないのです。今回の講演では、EDの危険因子やPDE5阻害剤を中心とする治療について解説します。また、テストステロン低下を伴うLOH(Late-onset hypogonadism)症候群についてもEDの関連領域として注目されるようになり、これについてもお話します。人生80年時代です。生活に余裕ができ子供も成長し家を離れ、夫婦二人きり、さあこれから思いっきり愛のある生活を楽しもうと思った時には、お互い更年期で「とほほな生活」を余儀なくされる、ということのないように男性の健康を保つコツについても考えます。【永井記】

お問い合わせは、078-393-1801 横山・柳原まで

FAX (078) 393-1802 へ(切り取らずにご返信ください)

7/7神戸支部研究会に()人参加します。

()区 医療機関名

参加者氏名 電話

兵庫県保険医協会

251号 2012年6月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

健康と医療について語り合う会 腎臓の機能と疾患を楽しく学んだ



22人が参加し熱心に学習した

神戸支部も協力する聴覚障害者の医療を考える会(略称:いのちを考える会)が11月24日に、あすてっぷKOBEで学習会を開催。「腎臓病」をテーマに、江原重幸先生(長田区)が講演し、22人が参加した。感想文を紹介する。

体のこと、病気のことを勉強できるこのような会があることは、かなり前から知っており、興味を持っていましたが、夜という時間帯のためなかなか参加でき

ずにいました。やっとのこと今日、初参加できました。

本日のテーマは「慢性腎不全」。基本的な臓器の構造と機能の説明のあと、病気の概要、原因疾患、血液数値、ステージ分類、心不全や貧血との関係、症状、透析療法へと話が進められていきました。わが国の潜在的な腎機能低下者は人口の約1割と大変多いこと、血液検査で基準値を超えたときにはすでに腎機能が----- (2面からつづく)

(1面からつづく)-----
半分以上やられていること、治療は悪化の進行を抑制するのみとのこと、ショッキングな話も多々ありました。

お話をいただいた江原重幸先生は、親しみやすい雰囲気の方で、言葉がはっきりして聞き取りやすく楽しく学習できました。何度か聴覚障害者を対象に話をされている様子で、パワーポイントと配

付資料を使い、理解しやすいよう工夫して説明してくださいました。参加者の要望に合わせ、聞き慣れない言葉は板書もしていただき、質問時は質問者の着席を待って回答を始めるなど、配慮に満ちていました。是非また参加して、体や病気への理解を深めたいと思いました。

【参加者 ●● ●●】

会 員 投 稿 かざみどり通信



盆栽の魅力

江原 重幸 先生(長田区)



日々の生活の中で趣味をもつのは良い事ですね。お忙しい先生からはお叱りを受けるかも知れませんが、趣味を通じて違う角度からの視点を持つことは、仕事にも私生活にも幅を与えてくれる様に思います。何でも良いと思いますが、私の場合は盆栽です。

私は昔、30歳の初め頃に大きな病気をしました。それまでは何でもがむしゃらで、日々起きる事が新鮮であり、その都度多くの事を吸収出来るので、自分が何時までも右肩上がりであると信じて疑いませんでした。当時のことを思うと「人の弱さ」や「生きる事の辛さ」は他人事であり、自分では考えて周囲の人や患者さんに接していたつもりですが、やはり視線は上からであり良い医者ではありませんでしたね、お恥ずかしい限りです。

病気で降っていく自分を受け入れざるを得なかった時ですね、周りの草花に目が行く様になったのは。つまらないと思っていた物がきれいに見えた。盆栽をはじめて見たのもこの頃です、美しかっ

た。たかが草花がなにも言わず冬を越えて芽吹く、その新芽のなんと瑞々しいことか、羨ましかった、病気でくさくさしている自分より偉いと思いました。しかも自分よりも長い間、変わらず芽吹き花を咲かし実をつける。暑い夏も厳しい冬もあるでしょう、雨の降らない梅雨も秋の嵐もあったはずです、だのに黙々と生き続ける姿に「自分もこう在りたい」と思いました。

盆栽の魅力は沢山あります。身近に緑があることは良いですね。仕事でイライ

----- (3面につづく)

(2面からつづく)-----
ラする時など気持ちが落ち着きます。本当は森の中などにすぐ飛び込めたら良いのですが、近くに無い人などにはお勧めですよ。

育てる楽しみもあります。盆栽は毎年の積み重ねですから思いがけず素晴らしい姿をみせてくれる事があります。人為と自然の調和を感じる時は息を呑みますね。



自分の技術が上達するのも楽しいですね。樹を良くするも悪くするも自分の技術次第です。自然が相手なので仕方無い部分がありますが、それに備え、迅速に対応し、万全の管理をする。医療と同じですね。いつもこううまく行きませんが、常にそう在りたいものです。

盆栽は鉢と合わせて花台に飾ります。古い樹ほど古い鉢や花台がよく似合います。古い鉢は百年以上前の物も多く骨董の世界です。骨董の焼き物を実用するのは楽しいですね。

私は展示会に盆栽を出品するのも好きです。展示会にも様々なクラスがありますが、最も格式の高い展示会は毎年二月に上野の東京都美術館で開催される国風盆栽展です。日本中から応募があり、入選した作品しか展示されません。厳しいですが、入選した喜びは格別ですね。

ご活用ください!

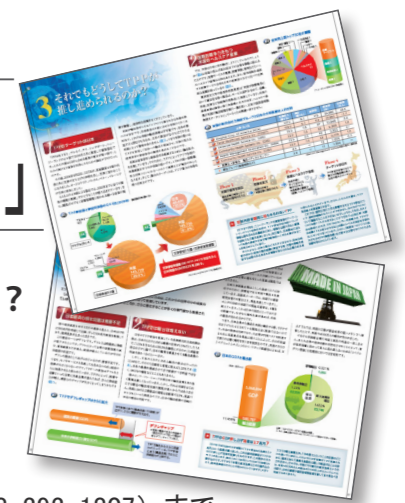


パンフレット 「TPPが医療を壊す」

TPPで日本国民は幸せになるのか?

TPP参入により日本の医療がどうなっていくのか、豊富なデータをもとに明らかにします

お問い合わせ・ご注文は政策部(TEL078-393-1807)まで



<投稿を募集しています>

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張などお寄せください。

電話 078-393-1817/FAX 078-393-1802
e-mail ntm@doc-net.or.jp 担当; 納富まで

